



## 各国での支援活動

### ブータン射撃連盟 (BSF) に寄付

ブータン

世界こども財団は、本年1月ブータン射撃連盟 (BSF) に競具購入費用支援を行いました。5月にドイツ・ワルサー社よりエリート選手育成向けライフル2丁とアクセサリーが届いたと同団体から感謝の言葉と報告を受けました。しかしながら、ライフル射撃のアジア・大陸別・国際大会はCOVID-19の影響から延期・中止が続いています。ブータンが2020東京大会の同競技で出場するには、国際試合に2回出場し、基準を満たす必要があります。また、特別枠でエントリーを得る場合も同様に一定基準があります。ブータンオリンピック委員会によると、今後の活動予定に影響はないと説明し

ています。今春、アーチェリーで史上初五輪出場権を勝ち取りました。ライフル射撃もアーチェリーに続けて出場が決まるよう更なる活躍にご期待ください。

(FGC 石田博彰)



FGCから寄贈したエア・ライフルでトレーニングをするランチュ選手 (左)  
在宅トレーニング中のアーチェリー競技代表のカルマ選手 (右)

### COVID-19 状況報告

ブータン

ブータンはCOVID-19による死者を出していません。感染者は旅行者や帰国者であり、国内クラスターの発生もしていません。これは、早期対応を行えており、現役外科医のロテ・ツェリン首相、公衆衛生専門家の保健相が先頭に立ち、迅速で周到な予防対策が取れている証と言えるでしょう。ブータンは、世界保健機関 (WHO) がCOVID-19感染拡大をパンデミックと宣言するよりも前から「国家準備計画」を策定し「緊急委員会」を設けました。感染の疑いのある人は3週間収容施設で隔離され、隣国インド国境沿いには入境ポイントに警察官が立ち、ドライバーや乗客の追跡調査をするため登録を課しました。こうした迅速かつ早期対応を成し遂げたブータン王国が新規感染者を封じ込めた大きな要因と言えます。星槎グループ・世

界こども財団で招聘しているSEISA-BOC奨学生 (陸上@星槎大・アーチェリー@星槎国際湘南・柔道@星槎道都) で「StayHomeメッセージ」を自国に向けて発信しました。互いに前を向き、支え合い、一緒に頑張ろうと綴りました。また、Royal Thimphu College 卒業生で星槎国際高尾キャンパス職員のジミー・ドルジ先生は、最前線にいる医療従事者へ感謝メッセージを生徒と作成し、国連開発計画ブータン事務所 (UNDP\_Bhutan) へ贈り交流を行いました。 (FGC 石田博彰)



ティンブプー市での手指の消毒液配布の様子



ブータン国連開発事務局からCOVID-19感染予防現場従事者へ感謝メッセージ



## エリトリアの独立記念日をお祝い!

エリトリア

5月24日はエリトリアの人々にとって特別な日です。1991年のこの日、30年にわたる闘いを経て、エリトリアはエチオピアからの独立を果たしました。その後1993年には国連に正式に加盟し、独立国家としての歩みを進めてきました。毎年首都のアスマラでは独立記念週間に盛大なイベントや式典が開催されます。遠く離れていても、祖国の誇るべき日を共に祝うため、エリトリアから星槎の高校、大学に留学している生徒たちと、ブータンやミャンマーの留学生をはじめ、仲間たちが集まりました。まだ新型コロナウイルスについて油断のできない状況でしたので、お互いの距離や、衛生、消毒にも十分気をつけながら、自分たちの祖国、そして友人の国の記念日を互いに祝福しました。生徒たちのティグリニャ語でのお祝いのメッセージをビデオレターにし、駐日

エリトリア大使館や、エリトリアの文化スポーツ庁に届けました。  
(FGC 石井洋祐)



エリトリアの留学生たちと FGC 宮澤保夫理事長

## 南アフリカの食糧支援に協力しました

南アフリカ



食糧配給に並ぶ人々

世界子ども財団が大切にしていることの一つに「草の根の活動」、地域に根付いた、人々に必要とされる持続的な活動があります。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、世界中で社会情勢が悪化していますが、南アフリカ共和国でも事態は深刻で、6月25日時点での感染者数は111,796名にのぼっています。ロックダウンの中で収入が断たれ、生活に困窮する人も多くなっています。

そんな中、南アフリカのジョージという町で地域の人々に向けて毎日、食糧の配給を続けている George-Suid 教会の活動を支援するため、世界子ども財団から寄付金を贈呈しました。この寄付は、食糧配給に使用するオーブンやフードプロセッサーなどの調理器具を購入することで、このプログラムを継続していくために使用されました。

(FGC 石井洋祐)



調理を担当するボランティアスタッフ



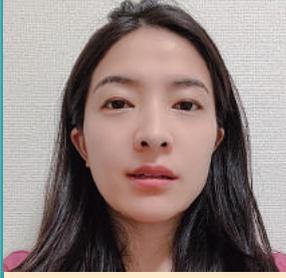
FGCの寄付で購入した調理器具



## 留学生紹介 ～大学・大学院～

新しい環境で競技や勉強にまい進している大学生と大学院生を紹介します。活動が制限される中、オンラインで授業に参加し、それぞれの競技を在宅で続けています。そして、日頃からご支援をいただいている皆様に彼らの成長した姿をご覧いただきたく過去の写真も掲載させていただきます。(FGC 木村友香)

### ブータン

	<b>所属</b> 星槎道都大学 2年 (柔道部)		<b>所属</b> 星槎道都大学 2年 (柔道部)
<b>今年度目標</b>	去年の経験を活かしてもっと強くなる。試合に出る。1本を取る。日本語能力試験 N3 をパスする。	<b>今年度目標</b>	自分の弱点を補強し、去年よりも良いパフォーマンスをすること。試合に出る。1本を取る。日本語能力試験 N3 をパスする。
キンレイ・ツェリン		タンディン・ワンチュク	
	<b>所属</b> 星槎大学 1年 (陸上競技部)		<b>所属</b> 東京大学公共政策大学院 1年
<b>今年度目標</b>	星槎奨学生として、陸上選手として、ブータン代表として、感謝の気持ちを忘れずに、且つ機会を頂いた場所で、結果を残せるように日々の努力を重ねていく。そして、二国間の架け橋になり、将来はブータンの陸上競技の発展に尽くしたい。	<b>今年度目標</b>	卒業後はブータン外務省で外交官として働くか、国際機関で働くことを望んでいます。また、宮澤会長をはじめ、世界こども財団、星槎グループの皆さまに恩返しをすること、そしてブータンと日本の二国間の架け橋となり、お役に立てようになりたいです。
ツェリング・ペンジョ		ペマ・セルデン	

### エリトリア

	<b>所属</b> 星槎道都大学 3年 (陸上競技部)		<b>所属</b> 星槎大学 1年 (陸上競技部)
<b>今年度目標</b>	5000m で昨年出した 14分 19秒 27 の自己記録を更新することです。	<b>今年度目標</b>	第89回日本学生陸上競技対校選手権大会(9月11日から13日)の10000mで3位以内を目指します。5000m13分35秒と10000m27分50秒の自己記録を更新したいです。
ケセテ・ハプテシオン・ベルハネ		デジェン・テスファレム・ウェルドゥ	

### MEMORIES (メモリーズ)



星槎道都大学入学式のタンディン君(左)とキンレイ君(右)(2019年4月)



初めて大磯キャンパスを訪れたペンジョ君(左)(2018年2月)



ロイヤル・ティンブー・カレッジの一員として来日したペマさん(2018年2月)



新調したばかりのスーツを着たケセテ君(真ん中)とデジェン君(左)(2017年11月)



## タナカ ～田中? メイク?～

エリトリア、ブータンに続いて昨年はミャンマーから初めての長期スポーツ奨学生3名を受け入れました。新しい国からの留学生が仲間に加わる度に、職員たちは日々の生活を通して文化の違いを学び合い、お互いの理解を深めています。皆様は「タナカ」というミャンマー独特の文化をご存知でしょうか。

「タナカ」とは、ミャンマー人が幼少期から顔に塗る白いペースト状のもので、日焼け止め、医薬品、美容品として使用されています。「タナカ」というミカン

科の木を円盤状の研磨石ですりつぶしたもので、2000年以上もの間ミャンマーで使用されています。日焼け、虫刺され、ニキビなどに使用され、消化不良時はその木くずを食べたりとさまざまな効用があります。化粧品としては近年外国での需要が出始めており、日本でもファンデーション、フェイスパウダーなどを手に入れることができます。

ミャンマーからの女子留学生2名もプライベートや課外活動などでは「タナカ」を頬に塗っています。(FCG 井上美智代)



昨年の課外活動でミャンマーの民族衣装を着て、タナカを頬に塗っているスーさん

### ● 2020年度 個人会員・法人会員を募集しています

世界子ども財団の活動は、皆さまのあたたかい心により支えられています。こどもたちの未来づくりのため、ご参加とご協力をお願い申し上げます。

#### ● 賛助会員

- 個人会員 年会費 6,000 円/一口
- 法人会員 年会費 120,000 円/一口

#### ● ご寄付

世界のこどもたちに、将来の夢と希望を！  
詳しくは、世界子ども財団のホームページ、  
またはお気軽に事務局までお問合わせください。  
金額を問わず、随時受け付けております。

#### ● 会員入会状況報告 (2020年6月末現在)

- 法人会員 55 団体
- 個人会員 354 名



### ● 2020年1月～6月 寄付モノ・寄付コラボ商品の報告

寄付モノ	(円)	寄付コラボ商品	(円)
本	73,983	自動販売機売上より (販売社より)	2,136,594
合計	73,983	合計	2,136,594

全国の皆さまのご厚志でこんなに寄付をお寄せいただいております。心よりお礼申し上げます。

### ● 寄付型自動販売機設置のお願い

現在、世界子ども財団では「寄付型自動販売機」を積極的に展開しています。購入いただいた飲み物の売り上げの一部が当財団に寄付される仕組みとなっており、こどもたちの未来へと繋がっています。設置費用はかかりません。面倒な管理もございません。少しでも興味のある方、設置しても良いという方、是非ともご連絡をお待ちしております。



2020年7月発行

公益財団法人  
世界子ども財団

〒259-0111 神奈川県中部大磯町国府本郷 1805-2 (星槎グループ内)  
TEL. 0463-74-5359 FAX. 0463-74-5374 E-mail: fgc@fgc.or.jp  
ホームページ: <http://www.fgc.or.jp> Facebook: 「世界子ども財団」で検索!  
印刷: フルサワ印刷株式会社 制作: 岡村直実 (JC ユニット)

